

TTC標準
Standard

J T - Q 7 6 2

ISUP 信号と信号情報の機能概要

ISUP general functions of message and signals

第 20 版

2002 年 5 月 30 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

< 参考 >	3
1 . 概説	10
1.1 本標準の範囲	10
1.2 参考文献	10
1.3 用語と定義	10
1.4 略語	10
2 . 信号メッセージ	14
3 . 信号パラメータ	17
4 . パラメータ情報	26

< 参考 >

1 . 国際勧告等との関連

本標準は、1999年12月のITU-T SG11全体会合で勧告化が承認されたITU-T勧告Q.762に準拠している。また、「アプリケーション転送」パラメータは、2000年12月のITU-T SG11全体会合において承認されたITU-T勧告Q.762補遺に準拠している。ただし、「発測地位置情報」パラメータ及び「発測地速度情報」パラメータは、2001年7月のITU-T SG11臨時会合で勧告化が承認されたITU-T勧告Q.1902.2に準拠している。

(注) ITU-T勧告Q.1902.2はベアラに依存しない呼制御プロトコル(BICC)能力セット2とNo.7信号方式ISDNユーザ部の信号と信号情報の機能概要を共通で規定している。ITU-TにおけるISUPパラメータの最新規定は、ITU-T勧告Q.1902.2に規定していることから、「発測地位置情報」パラメータ及び「発測地速度情報」パラメータについては、本標準ではITU-Tにおける最新の審議結果を反映しているITU-T勧告Q.1902.2に準拠した。

2 . 上記勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

なし

2.2 ナショナルマター項目

なし

2.3 その他

(1) 本標準は、上記ITU-T勧告に対し、以下の項目について追加している。

(本文中では*で表示する。)

(a) 追加しているメッセージと追加の理由を表1に示す。

(b) 追加しているパラメータと追加の理由を表2に示す。

(2) 本標準は、上記ITU-T勧告に対し、以下の項目についての記述を削除している。

(a) 削除しているメッセージと削除の理由を表3に示す。

(b) 削除しているパラメータと削除の理由を表4に示す。

なお、上記勧告では規定しているが本標準では規定しない事項で、本標準の理解を助けるため記載しているものは#で表示する。

2.4 原勧告との章立て構成比較表

上記国際勧告等との章立て構成の相違はない。

3. 改版の履歴

(1 / 2)

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 版	昭和 6 2 年 4 月 2 8 日	制 定
第 2 版	平成 元 年 4 月 2 8 日	ＣＣＩＴＴ勧告Ｑ．７６２の内容が充実し１９８８年勧告となったことに伴い、内容を充実させた。
第 3 版	平成 2 年 4 月 2 5 日	パラメータの新規追加を行ったため。
第 4 版	1 9 9 2 年 4 月 2 8 日	付加サービス標準(ＪＴ - Ｑ 7 3 X シリーズ) の拡充に伴う内容の充実
第 5 版	1 9 9 3 年 4 月 2 7 日	ＩＴＵ - Ｔ勧告Ｑ．７６２の内容が充実し１９９３年に勧告化となったことに伴い、内容を充実させた。
第 6 版	1 9 9 4 年 4 月 2 7 日	ＭＡＰ標準 (JJ-70.10) 制定に伴い、移动通信で必要となるパラメータの新規追加を行った。
第 7 版	1 9 9 4 年 1 1 月 2 4 日	ＰＨＳローミング用網間インタフェース標準(ＪＴ - Ｑ 1 2 1 8 - a) 制定に伴い、ＰＨＳで必要となるパラメータの新規追加を行った。
第 8 版	1 9 9 5 年 1 1 月 2 8 日	ＴＴＣ標準 ＪＴ - Ｑ 7 3 1 [] の拡充に伴うパラメータの新規追加を行った。
第 9 版	1 9 9 6 年 1 1 月 2 7 日	リダイレクション及びユーザ課金・事業者間料金精算関連パラメータの新規追加を行った。
第 1 0 版	1 9 9 7 年 4 月 2 3 日	ＩＳＵＰ - ＩＮＡＰインタワーク関連パラメータの新規追加を行った。
第 1 1 版	1 9 9 7 年 1 1 月 2 6 日	事業者間精算関連パラメータの変更、及びＴＴＣ標準 ＪＴ - Ｑ 7 3 2 制定に伴い呼提供付加サービス関連パラメータの新規追加を行った。
第 1 2 版	1 9 9 8 年 4 月 2 8 日	ＴＴＣ標準 ＪＴ - Ｑ 7 3 2 の改版に伴い、イクスプリシットコールトランスファ関連メッセージ・パラメータの新規追加を行った。
第 1 3 版	1 9 9 8 年 1 1 月 2 6 日	輻輳制御手順、ピボットルーティング手順、及び番号ポータビリティに関連するメッセージ、パラメータの新規追加を行った。
第 1 3 . 1 版	1 9 9 9 年 2 月 3 日	誤記訂正
第 1 4 版	1 9 9 9 年 4 月 2 2 日	ＩＴＵ - Ｔ勧告Ｑ．７６２の内容が充実し１９９７年に勧告化となったことに伴い、内容を充実させた。
第 1 5 版	1 9 9 9 年 1 1 月 2 5 日	ＣＣＳＳに関するパラメータの追記、及びピボット、リダイレクション関連パラメータの一部変更等を行った。
第 1 6 版	2 0 0 0 年 4 月 2 0 日	ＴＴＣ標準 ＪＴ - Ｑ 1 9 0 1 制定に伴うＢＩＣＣ手順で必要となるメッセージ、パラメータの新規追加を行なった。また、移転元ＳＣＰ事業者情報、移転先ＳＣＰ事業者情報の追加を行なった。

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 7 版	2 0 0 0 年 1 1 月 3 0 日	課金情報遅延パラメータに関する記述の明確化を行った。
第 1 8 版	2 0 0 1 年 4 月 1 9 日	I T U - T 勧告 Q . 7 6 2 の内容が充実し、1 9 9 9 年に勧告化となったことに伴い、内容を充実させた。また、発測地位置情報の機能追加を行った。
第 1 9 版	2 0 0 1 年 1 1 月 2 7 日	ISUP でピボットルーティング手順をサポートしなくなったことに伴い、ピボットルーティングパラメータの削除を行った。また、発測地速度情報の機能追加を行った。
第 2 0 版	2 0 0 2 年 5 月 3 0 日	緊急通報呼表示パラメータの新規追加を行った。

4 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、T T C ホームページでご覧になれます。

5 . その他

な し

6 . 標準作成部門

第一部門委員会 第一専門委員会

表1 T T C 標準で追加して規定するメッセージ

メッセージ	略称	追加して規定する理由
課金	CHG	ITU-Tでは課金情報を通知する信号の規定が不十分のため、規定する。

表2 T T C 標準で追加して規定するパラメータ

パラメータ名	追加して規定する理由
網機能種別	契約IDの転送など網機能を表示するパラメータであり、追加規定する。
料金区域情報	発信ユーザのエリアを通知するための網間接続固有のパラメータであり、追加規定する。
課金情報	課金内容等を転送するパラメータであり、追加規定する。
課金情報種別	課金情報の種別を識別するパラメータであり、追加規定する。
契約者番号	個々の網で管理している契約者の番号を通知するパラメータであり、追加規定する。
移動通信用エンド情報転送	移動通信特有に必要な情報を転送するためのパラメータであり、追加規定する。
移動通信用呼番号	移動通信特有に交換機間で呼の識別を行うためのパラメータであり、追加規定する。
PHS 端末識別番号	PHS 特有に PHS 端末の識別を行うためのパラメータであり、追加規定する。
発信者番号非通知理由	発信者番号がユーザに通知できない場合の詳細理由を転送するためのパラメータであり、追加規定する。
国内用リダイレクション理由	リダイレクションが起動された理由を通知するパラメータであり、追加規定する。
付加ユーザ種別	付加的な発側もしくは着側のユーザ種別情報を通知するパラメータであり、追加規定する。
課金情報遅延	ACMまたはCPGメッセージに設定され、CHGまたはCPGにより課金関連情報を転送することを通知するパラメータであり、追加規定する。 (注) 第9版~第16版をサポートするためのオプションである。
事業者情報転送	事業者情報を設定し転送するパラメータであり、追加規定する。
輻輳制御済み通知情報	前位の網で輻輳制御を実施したことを通知するパラメータであり、追加規定する。
緊急通報呼表示	呼が緊急通報呼であることを表示するパラメータであり、追加規定する。

表3 T T C標準で削除するメッセージ

メッセージ	略称	ITU-T での番号	削除する理由
課金情報	CRG	2.7	課金メッセージを追加したため。
導通試験要求	CCR	2.19	デジタル回線を前提とするため導通試験機能は規定しない。
ファシリティ受付	FAA	2.20	付加サービス実現のための信号であり、これを用いる付加サービスの規定がないため規定しない。
ファシリティ拒否	FRJ	2.22	
ファシリティ要求	FAR	2.23	
順方向転送	FOT	2.24	国際間の信号であり、国内では不要のため規定しない。
番号要求	IDR	2.25	付加サービス実現のための信号であり、これを用いる付加サービスの規定がないため規定しない。
番号応答	IRS	2.26	
情報	INF	2.27	関連する情報は、呼設定用のメッセージに乗せるため規定しない。
情報要求	INR	2.28	
ループバック確認	LPA	2.30	デジタル回線を前提とするため導通試験機能は規定しない。
網リソース管理	NRM	2.32	ダイナミックエコー制御のための信号であり、国内では不要のため規定しない。
過負荷	OLM	2.33	優先 / 非優先の設定基準が明確でないため、本手順は適用不可であるため規定しない。
パスアロング	PAM	2.34	付加サービス実現のための信号であり、網間での提供形態が未定のため規定しない。
後続ディレクトリ番号	SDM	2.41	これを用いる信号手順が規定されていないため規定しない。
後続アドレス	SAM	2.42	オーバラップ転送のための信号であり、国内では不要のため規定しない。
未実装回線番号	UCIC	2.46	回線状態問合せ機能で十分であるため規定しない。
ユーザ部有効性	UPA	2.47	I S D Nユーザ部有効性制御のための信号であり、国内では不要のため規定しない。
ユーザ部テスト	UPT	2.48	
ユーザ・ユーザ情報	USR	2.49	通信中のユーザ・ユーザ情報の転送のための信号であり、網間での提供形態が未定のため規定しない。

表4 T T C 標準で削除するパラメータ

(1 / 2)

パラメータ名	ITU-T での 番号	削 除 す る 理 由
逆方向G V N S	3.6	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
呼転送情報	3.7	
呼転送処理表示	3.8	
呼履歴情報	3.9	ダイナミックエコー制御関連のため規定しない。
呼提供処理表示	3.10	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
呼番号	3.11	
コールトランスファ番号	3.12	
C C N R 可能表示	3.21	
課金ユーザ表示	3.23	
回線割当マップ	3.24	
コレクトコール要求	3.28	
会議電話処理表示	3.29	
接続要求	3.31	
表示情報	3.34	
エコー制御情報	3.35	
ファシリティ表示	3.38	
順方向G V N S	3.40	
汎用参照	3.44	
ホップカウンタ	3.45	I T U - T で検討中の課題であるため規定しない。
H T R 情報	3.46	国内で不要のため規定しない。
情報表示	3.47	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
情報要求表示	3.48	
ロケーション番号	3.49	I T U - T で検討中の課題であるため規定しない。
M C I D 要求表示	3.51	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
M C I D 応答表示	3.52	
M L P P 優先	3.54	
網管理制御	3.56	国内で不要のため規定しない。
ネットワークルーティン グ番号	3.57	
番号ポータビリティ順方 向情報	3.59	
発側 I S C 局コード	3.64	
ピボット能力	3.66	
ピボットルーティング回 数	3.67	

表4 T T C 標準で削除するパラメータ

(2 / 2)

パラメータ名	ITU-T での 番号	削 除 す る 理 由
ピボットルーティング逆 方向情報	3.68	国内で不要のため規定しない。
ピボットルーティング順 方向情報	3.69	
ピボットルーティング	3.70	
ピボット状態表示	3.71	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
伝播遅延カウンタ	3.72	ダイナミックエコー制御関連のため規定しない。
Q o R 能力	3.73	国内で不要のため規定しない。
リダイレクション状態表 示	3.79	国内で不要のため規定しない。
転送先番号制限	3.83	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
リモートオペレーション	3.84	
サービス活性化	3.86	
後続番号	3.88	
通信路要求表示プライム	3.92	フォールバック能力を許容する信号手順のため規定しない。
使用通信路	3.93	これを用いる付加サービスが規定されていないため規定しない。
ユーザサービス情報プラ イム	3.97	フォールバック能力を許容する信号手順のため規定しない。

1. 概 説

1.1 本標準の範囲

本標準は、ISDNユーザ部プロトコルが用いる信号情報の要素とその機能に関して記述している。信号情報要素の符号化、伝達される信号のフォーマットおよび国内用であるか否かの表示については、標準JT-Q763[1]にて記述される。

1.2 参考文献

以下に示すITU-T勧告、TTC標準と他の参考文献は、このテキストの参照に示しており、本勧告の規定を含んでいる。出版時には該当する版数が有効であった。全勧告と他の参考文献は版数が重要であり、この勧告を使用する場合以下に列記した勧告と他の参考文献は最新版を参照すべきである。現在参照できるITU-T勧告、TTC標準のリストは、正式に出版されている。

- [1] TTC標準 JT-Q763(2002/5/30) ISUPフォーマットおよびコード
- [2] CCITT勧告 Q.28(1988) Determination of the moment of the called subscriber's answer in the automatic service
- [3] CCITT勧告 E.260(1988) Basic Technical Problems concerning the Measurement and Recording of call Durations
- [4] CCITT勧告 Q.101(1988) Facilities provided in international semi-automatic working
- [5] TTC標準 JT-Q1218-b(1997/4/23) 地域網-サービス提供網IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース
- [6] TTC標準 JT-Q1228-b(2001/11/27) 地域網-サービス提供網IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース能力セット2
- [7] ITU-T勧告 E.412(1998) Network Management Controls
- [8] TTC標準 JT-Q850(1996/11/27) デジタル加入者線信号方式No.1(DSS1)およびNo.7信号方式ISDNユーザ部(ISUP)における理由表示の使用法および生成源
- [9] CCITT勧告 X.229(1988) Remote Operations: Protocol Specification
- [10] ITU-T勧告 X.121(1996) International Numbering Plan for Public Data Networks
- [11] CCITT勧告 E.212(1988) Identification Plan for Land Mobile Stations
- [12] TTC標準 JT-Q704(2002/5/30) メッセージ転送部 信号網機能部
- [13] TTC標準 JT-Q1238.2-b(2001/11/27) 地域網-サービス提供網IN(インテリジェントネットワーク)インターフェース能力セット3 - SCF - SSFインターフェース

*
*

1.3 用語と定義

本標準の2節から4節を参照。

1.4 略語

本標準内では以下の略語が使用される。

APP	アプリケーション転送パラメータ
ASE	アプリケーションサービス要素
ATII	アプリケーション転送動作指示表示
CCBS	話中時再呼出し
CCNR	無応答時再呼出し

CCSS	再呼出サービス設定
DNIC	データ網識別符号
ECT	エクシプリシットコールトランスファ
GVNS	グローバルバーチャルネットワークサービス
ID	識別子
IN	インテリジェントネットワーク
ISC	国際交換機
LFB	ビジー調査
MCID	悪意呼通知
MLPP	優先割り込み
MNIC	移動体網識別符号
PDU	プロトコルデータユニット
QoR	クエリーオンリリース
ROER	遠隔操作エラー
ROIV	遠隔操作呼出
RORJ	遠隔操作拒否
RORS	遠隔操作結果
SCCP	信号接続制御部
SLR	分割ローカル参照
SCF	サービス制御機能
UID	ユーザ相互動作対話
WGS - 84	世界測地系 1984

表 1 に ISDN ユーザ部のメッセージ名の略語を定義する。

表1 / JT - Q762 ISDNユーザ部略語リスト(1/2)
(ITU-T Q.762)

略語	メッセージ	
ACM	アドレス完了メッセージ	
ANM	応答メッセージ	
APM	アプリケーション転送メッセージ	
BLA	閉塞確認メッセージ	
BLO	閉塞メッセージ	
CCR	導通試験要求メッセージ	#
CFN	コンフュージョンメッセージ	
CGB	回線群閉塞メッセージ	
CGBA	回線群閉塞確認メッセージ	
CGU	回線群閉塞解除メッセージ	
CGUA	回線群閉塞解除確認メッセージ	
CHG	課金メッセージ	*
CON	接続メッセージ	
COT	導通試験メッセージ	
CPG	呼経過メッセージ	
CQM	回線群状態要求メッセージ	
CQR	回線群状態応答メッセージ	
CRG	課金情報メッセージ	#
FAA	ファシリティ受付メッセージ	#
FAC	ファシリティメッセージ	
FAR	ファシリティ要求メッセージ	#
FOT	順方向転送メッセージ	#
FRJ	ファシリティ拒否メッセージ	#
GRA	回線群リセット確認メッセージ	
GRS	回線群リセットメッセージ	
IAM	アドレスメッセージ	
IDR	番号要求メッセージ	#
IRS	番号応答メッセージ	#
INF	情報メッセージ	#
INR	情報要求メッセージ	#
LOP	ループ抑止メッセージ	
LPA	ループバック確認メッセージ	#
NRM	網リソース管理メッセージ	#
OLM	過負荷メッセージ	#
PAM	パスアロングメッセージ	#
PRI	先行切断情報メッセージ	
REL	切断メッセージ	

表 1 / J T - Q 7 6 2 I S D N ユーザ部略語リスト (2 / 2)
(ITU-T Q.762)

R E S	再開メッセージ	
R L C	復旧完了メッセージ	
R S C	回線リセットメッセージ	
S A M	後続アドレスメッセージ	#
S D M	後続ディレクトリ番号メッセージ	#
S G M	分割メッセージ	
S U S	中断メッセージ	
U B L	閉塞解除メッセージ	
U B A	閉塞解除確認メッセージ	
U C I C	未実装回線番号メッセージ	#
U P A	ユーザ部有効性メッセージ	#
U P T	ユーザ部テストメッセージ	#
U S R	ユーザ・ユーザ情報メッセージ	#

2. 信号メッセージ

2.1 アドレス完了メッセージ (ACM)

呼到着ユーザにルーチングするのに必要な全てのアドレス情報を受信したことを示す逆方向へ送信されるメッセージ。

2.2 応答メッセージ (ANM)

呼に応答があったことを示す、逆方向へ送信されるメッセージ。本メッセージは、半自動動作の場合は監視機能を有し、全自動動作の場合は下記の目的のために、課金情報とともに用いられる。

- 発信加入者への課金メータの作動開始 (ITU-T 勧告 Q.28 [2] 参照)
- 国際課金のための呼継続時間の測定開始 (ITU-T 勧告 E.260 [3] 参照)

#

2.3 アプリケーション転送メッセージ (APM)

アプリケーション転送メカニズムを用いてアプリケーション情報を転送するために両方向に送信されるメッセージ。

2.4 閉塞メッセージ (BLO)

保守を目的とし、回線の他方端の交換機から発信される後続呼に対し、その回線を閉塞中の状態にするため、当該交換機に送信されるメッセージ。回線が両方向運用中のときは、閉塞メッセージを受信した交換機は、その交換機も閉塞メッセージを送信していない限り、当該回線に着信呼を受け入れることができなければならない。特定の条件のもとでは、閉塞メッセージが回線リセットメッセージへの適切な応答にもなる。

2.5 閉塞確認メッセージ (BLA)

閉塞メッセージの応答として、回線が閉塞されたことを示すために送信されるメッセージ。

2.6 呼経過メッセージ (CPG)

発側または着側加入者線に転送されるべき重要なイベントが発生したことを示すため、呼設定または通信中フェーズで両方向に送信されるメッセージ。

2.7 課金情報メッセージ (CRG)

#

2.8 回線群閉塞メッセージ (CGB)

回線群の他方端の交換機から発信される後続呼に対し、その回線群を閉塞中の状態にするため、当該交換機へ送信されるメッセージ。回線群閉塞メッセージを受信した交換機は、その交換機も閉塞メッセージを送信していない限り、当該回線に着信呼を受け入れることができなければならない。特定の条件のもとでは、回線群閉塞メッセージは、回線リセットメッセージへの適切な応答にもなる。

2.9 回線群閉塞確認メッセージ (CGBA)

回線群閉塞メッセージの応答として、回線群が閉塞されたことを示すために送信されるメッセージ。

2.10 回線群リセットメッセージ (GRS)

メモリーの不具合やその他の理由で群内の回線それぞれに対し、例えば切断メッセージと復旧完了メッセージのどちらかが適切であるか不明の場合に、当該回線群を復旧するために送信されるメッセージ。受信端で回線が相手局閉塞されている場合、本メッセージを受信すると閉塞状態は解除されなければならない。

2.11 回線群リセット確認メッセージ (GRA)

回線群リセットメッセージの応答として、要求された回線群がリセットされたことを示すために送信されるメッセージ。また、各々の回線についての保守閉塞状態も示す。

2.12 回線群閉塞解除メッセージ (CGU)

先に閉塞メッセージ、または回線群閉塞メッセージにて閉塞中の状態にした回線群の閉塞状態を解除するために回線群の他方端の交換機へ送信されるメッセージ。

2.13 回線群閉塞解除確認メッセージ (CGUA)

回線群閉塞解除メッセージの応答として送信され、回線群が閉塞解除されたことを示すために送信されるメッセージ。

2.14 回線群状態要求メッセージ (CQM)

特定の範囲の全回線状態を相手交換機に問合せるために、定期的もしくは必要に応じて送信されるメッセージ。

2.15 回線群状態応答メッセージ (CQR)

回線群状態要求メッセージの応答として、特定の範囲の全回線状態を返送するメッセージ。

2.16 コンフュージョンメッセージ (CFN)

交換機が認識できないメッセージ、またはメッセージの一部を認識できないことを検出した時、全てのメッセージ (コンフュージョンメッセージを除く) に応じて送信されるメッセージ。

2.17 接続メッセージ (CON)

呼を着ユーザにルーチングするのに必要な全てのアドレス情報を受信し、呼が応答されたことを示す、逆方向へ送信されるメッセージ。

2.18 導通試験メッセージ (COT)

交換機内の通話路が所定の信頼性を有していることの確認も含めて、前位の回線、および選択された後位交換機への回線が導通しているかどうかを示すために順方向へ送信されるメッセージ。

2.19 導通試験要求メッセージ (CCR)

#

2.20 ファシリティ受付メッセージ (FAA)

#

2.21 ファシリティメッセージ (FAC)

呼のフェーズによらず、他の交換機が動作を要求した場合に両方向に送信されるメッセージ。メッセージは、結果、エラーまたは依頼すみの具体的な動作の転送にも利用される。

2.22 ファシリティ拒否メッセージ (FRJ)

#

- 2.23 ファシリティ要求メッセージ (F A R) #
- 2.24 順方向転送メッセージ (F O T) #
- 2.25 番号要求メッセージ (I D R) #
- 2.26 番号応答メッセージ (I R S) #
- 2.27 情報メッセージ (I N F) #
- 2.28 情報要求メッセージ (I N R) #
- 2.29 アドレスメッセージ (I A M)
出回線の捕捉開始および呼のルーチング番号やその他の処理に関する情報を転送するため、順方向に送信されるメッセージ。
- 2.30 ループバック確認メッセージ (L P A) #
- 2.31 ループ抑止メッセージ (L O P)
E C T 付加サービスによって要求される情報を転送するために送信されるメッセージ。
- 2.32 網リソース管理メッセージ (N R M) #
- 2.33 過負荷メッセージ (O L M) #
- 2.34 パスアロンクメッセージ (P A M) #
- 2.35 先行切断情報メッセージ (P R I)
切断メッセージ自体での情報転送により 1992 年版 ISUP やその後の ISUP のバージョンとの整合性の問題が発生する場合、情報転送のために切断メッセージと共に使用されるメッセージ。
- 2.36 切断メッセージ (R E L)
示されている理由 (原因) により回線が復旧され、復旧完了メッセージを受信した時空き状態になれることを示すために、両方向に送信されるメッセージ。
呼がリダイレクションされる場合、メッセージは転送先番号パラメータも転送する。
- 2.37 復旧完了メッセージ (R L C)
当該回線が空き状態になった場合、切断メッセージの応答として、場合によっては回線リセットメッセージへの応答として、両方向に送信されるメッセージ。

2.38 回線リセットメッセージ (R S C)

メモリの不具合やその他の理由で、例えば切断メッセージと復旧完了メッセージのどちらが適切か不明な場合に、回線を復旧するために送信されるメッセージ。受信端で回線が相手局閉塞されている場合、本メッセージを受信すると閉塞状態は解除される。

2.39 再開メッセージ (R E S)

中断後、発ユーザまたは、着ユーザを再接続したことを示す、両方向に送信されるメッセージ。

2.40 分割メッセージ (S G M)

長さが超過するメッセージの追加セグメントを転送するために両方向に送信されるメッセージ。

2.41 後続ディレクトリ番号 (S D M)

#

2.42 後続アドレスメッセージ (S A M)

#

2.43 中断メッセージ (S U S)

発ユーザもしくは着ユーザが一時的に切断されたことを示す、両方向に送信されるメッセージ。

2.44 閉塞解除メッセージ (U B L)

回線の他方端の交換機が、以前に送信された閉塞メッセージまたは、回線群閉塞メッセージにより閉塞中の状態にされた回線を解除するため、当該交換機へ送信されるメッセージ。

2.45 閉塞解除確認メッセージ (U B A)

閉塞解除メッセージの応答として、回線が閉塞解除されたことを示すために送信されるメッセージ。

2.46 未実装回線番号メッセージ (U C I C)

#

2.47 ユーザ部有効性メッセージ (U P A)

#

2.48 ユーザ部テストメッセージ (U P T)

#

2.49 ユーザ・ユーザ情報メッセージ (U S R)

#

2.50 課金メッセージ (C H G)

*

料金計算および/もしくは呼の課金の目的で両方向へ送信されるメッセージ。

*

3 . 信号パラメータ

3.1 アクセス配送情報

着側加入者線で呼設定メッセージが生成されたことを示すために逆方向に送信される情報。

3.2 アクセス転送

呼のアクセス側で生成され、発着加入者線交換機間で両方向に透過的に転送される情報。この情報は、両ユーザと加入者線交換機で意味を持つ。

3.3 アプリケーション転送パラメータ (A P P)

アプリケーション転送メカニズムのユーザアプリケーションにおいて、同位間の通信を許容するために両方向に転送される情報。

3.4 自動輻輳レベル

送信交換機が、特定の輻輳レベルにあることを示すために回線の他方端の交換機へ送信される情報。

3.5 逆方向呼表示

コネクション、信号パスおよび着信者の特性に関して、逆方向に送信される情報。

3.6 逆方向 G V N S

#

3.7 呼転送情報

#

3.8 呼転送処理表示

#

3.9 呼履歴情報

#

3.10 呼提供処理表示

#

3.11 呼番号

#

3.12 コールトランスファ番号

#

3.13 コールトランスファ参照

E C T 付加サービスに関連して、参照番号を転送するために用いられる情報。

3.14 着ディレクトリ番号

ディレクトリ番号を示す情報。ディレクトリ番号は、電話サービスの為に国内番号計画により顧客に割り当てられる番号である。

3.15 着 I N 番号

アドレスメッセージ (I A M)

と後続アドレスメッセージ (S A M)

で、着番号として S S P で受信した番号を表示する為の情報。

#

3.16 着番号

着ユーザを識別するための情報

3.17 発測地位置

発信者の測地位置情報を示す情報である。符号化のための基準系は世界測地系 1984 (WGS-84) である。WGS-84 の座標原点は WGS-84 楕円体の幾何学的中心である。この楕円体は、楕円を南北方向の短軸を中心に自転させることで作られる。自転軸は楕円体の極軸である。楕円体の極軸に直交し、対称中心を含む平面

が赤道面である。

関連する寸法を以下に示す。

長軸(a) = 6 378 137 m

短軸(b) = 6 356 752.314 m

座標はこの楕円体の緯度と経度に換算されて表現される。経度の範囲は-180 度から+180 度、緯度の範囲は-90 度から+90 度。経度0度はグリニッジ本初子午線に対応する。経度は東側(東経)が正の角度となり、西側(西経)が負の角度となる。緯度0度は赤道に対応する。緯度は北側(北緯)が正の角度となり、南側(南緯)が負の角度となる。高度は、楕円体に直交する直線上の点と楕円体表面との距離として定義される。

3.18 発番号

発ユーザを識別するために、順方向に送信される情報。

3.19 発ユーザ種別

発ユーザ種別、そして半自動呼の場合には、着信、待時または援助オペレータが話す言語を表示するため、順方向に送信される情報。

3.20 理由表示

メッセージの送信理由を転送するために、両方向に転送される情報(例:切断メッセージ)。

3.21 C C N R可能表示

#

3.22 C C S S

C C B S

やC C N R

#

付加サービスで考慮されているように、C C B S

やC C N R

#

呼であることを示すアドレスメッセージ(I A M)内の情報。

3.23 課金ユーザ表示

#

3.24 回線割当マップ

#

3.25 回線群監視メッセージ種別

回線群閉塞または回線群閉塞解除メッセージに含まれて送信され、その閉塞(閉塞解除)が、保守によるものか、ハードウェアによるものかを示す情報。

3.26 回線状態表示

送信する交換機側の回線状態を表示する情報。

3.27 閉域接続インタロックコード

網内において閉域ユーザグループを一元的に識別する情報。

- 3.28 コレクトコール要求 #
- 3.29 会議電話処理表示 #
- 3.30 接続先番号
接続されたユーザを識別するために、逆方向に送信される情報。
- 3.31 接続要求 #
- 3.32 導通表示
出回線において導通試験が成功したかどうかを表示するため、順方向へ送信される情報。導通試験成功表示は、前位回線が導通し、交換機を通る経路が規定の信頼度に達したことも意味する。
- 3.33 相関 i d
S C F が以前の結合の相関関係を取得するために用いられる情報。(J T - Q 1 2 1 8 - b [5]、 J T - Q 1 2 2 8 - b [6]
および J T - Q 1 2 3 8 . 2 - b [1 3] の
共通データ型定義 参照) *
- 3.34 表示情報 #
- 3.35 エコー制御情報 #
- 3.36 オプションパラメータ終了表示
オプションパラメータ終了表示は、メッセージ内でもうこれ以上オプションパラメータがないことを示している。
- 3.37 イベント情報
C P G メッセージが転送される契機となったイベント種別を示す情報。
- 3.38 ファシリティ表示 #
- 3.39 順方向呼表示
コネクション、信号パスおよび発信者の特性に関して、順方向に送信される情報。
- 3.40 順方向 G V N S #
- 3.41 汎用ディジット
番号化アドレス情報で転送するには不適切なディジット情報を、付加サービスのために交換機間で両方向に転送する情報。
- 3.42 汎用通知識別子
ユーザに付加サービス通知を提供するために両方向に送信される情報。

3.43	汎用番号	
	ネットワークオペレーションもしくは付加サービスの拡充のため、両方向に送信される番号情報。	
3.44	汎用参照（1997年勧告とその後のISUP勧告では使用していない）	#
3.45	ホップカウンタ	#
3.46	HTR情報	#
3.47	情報表示	#
3.48	情報要求表示	#
3.49	ロケーション番号	#
3.50	ループ抑止表示	
	ECT付加サービスでループ抑止手順が実行された場合に、要求（または要求に対する応答）との連携で送出される情報。	
3.51	MCID要求表示	#
3.52	MCID応答表示	#
3.53	メッセージコンパチビリティ情報	
	このメッセージが認識不可の場合、交換機がどのようなリアクションをすべきかを示すために両方向に送信される情報。	
3.54	MLPP優先	#
3.55	接続特性表示	
	接続に使用される伝送パスに関する情報。	
3.56	網管理制御	#
3.57	ネットワークルーティング番号	#
3.58	網特有ファシリティ	
	加入者線交換機とサービスに関連する特定の網との間を両方向に送信されるサービスに関連する情報である。この情報は、ユーザと特定の網の両方に意味を持つ。	
3.59	番号ポータビリティ順方向情報	#

3.60 オプション逆方向呼表示

コネクション、信号パスおよび着信者の特性に関して、逆方向に送信される情報。

3.61 オプション順方向呼表示

コネクション、信号パスおよび発信者の特性に関して、順方向に送信される情報。

3.62 第一着番号

呼が着信転送された場合、第一呼の着信者番号を識別するために順方向に送信される情報。

3.63 第一着 I N 番号

複数回 I N 相互動作が起こった場合、第一着 I N 番号を示すために順方向に送信される情報。

3.64 発側 I S C 局コード

#

3.65 パラメータコンパチビリティ情報

パラメータが認識不可の場合、交換機がどのようなリアクションをすべきかを表示するために両方向に送信される情報。

3.66 ピボット能力

#

3.67 ピボットルーティング回数

#

3.68 ピボットルーティング逆方向情報

#

3.69 ピボットルーティング順方向情報

#

3.70 ピボットルーティング表示

#

3.71 ピボット状態表示

#

3.72 伝播遅延カウンタ

#

3.73 Q o R 能力

#

3.74 範囲と状態

そのメッセージにより影響を受ける回線の範囲と状態を示すために、回線群監視メッセージ（例：回線群閉塞メッセージ）で送信される情報。

3.75 リダイレクション逆方向情報

リダイレクションをサポートするため逆方向に送信される情報。

3.76 リダイレクション能力

接続における少なくとも 1 つの交換機で呼のリダイレクションが可能及び手順が可能である呼の状態を

示すため順方向に送信される情報。

3.77 リダイレクション回数

呼においてリダイレクションの起動回数を保持するための情報。

3.78 リダイレクション順方向情報

リダイレクションをサポートするため順方向に送信される情報。

3.79 リダイレクション状態表示

#

3.80 転送元番号

呼が着信転送された場合、着信転送が起動された番号を示すために順方向に送信される情報。

3.81 着信転送情報

リダイレクションや着信転送に関する情報を示すために両方向に送信される情報。

3.82 転送先番号

呼がリダイレクションされるべき番号または転送された番号を示すために、逆方向に送信される情報。

3.83 転送先番号制限

#

3.84 リモートオペレーション

#

3.85 S C F i d

S C F 識別子を示す情報 (J T - Q 1 2 1 8 - b [5]、J T - Q 1 2 2 8 - b [6]

および J T - Q 1 2 3 8 . 2 - b [1 3] の

共通データ型定義参照)。

*

3.86 サービス活性化

#

3.87 信号局コード

イベントが発生した信号局を識別する情報。

3.88 後続番号

#

3.89 中断 / 再開表示

中断および再開メッセージに含まれて送信され、中断 / 再開が I S D N 加入者によって起動されたか、ネットワークにより起動されたかを示す情報。

3.90 中継網選択

アドレスメッセージ (I A M) に含まれて転送され、呼に使用されるように要求された中継網を示すために送信される情報。

3.91	通信路要求表示	
	接続のため要求される通信路種別を表示するため、順方向に送信される情報（例：6.4 kbit/s 非制限、音声）。	
3.92	通信路要求表示ブライム	#
3.93	使用通信路	#
3.94	U I D動作表示	
	前位の交換機に対し、ユーザ相互動作対話が起こりうることを通知するために逆方向に送信される情報。	
3.95	U I D能力表示	
	後位の交換機に対し、要求時にユーザ相互動作対話が可能であることを通知するために順方向に送信される情報。	
3.96	ユーザサービス情報	
	発ユーザにより要求された、伝達能力を表示するため、順方向に送信される情報。	
3.97	ユーザサービス情報ブライム	#
3.98	ユーザテレサービス情報	
	発ユーザにより要求された高位レイヤ整合性情報を表示するためにアドレスメッセージで送信される情報。	
3.99	ユーザ・ユーザ表示	
	ユーザ・ユーザ情報付加サービスの要求（または要求の応答）に含まれて送信される情報。	
3.100	ユーザ・ユーザ情報	
	ユーザにより生成され、中継交換網を介し、発信および着信加入者線交換機間でトランスペアレントに転送される情報。	
3.101	網機能種別	*
	個々の網で、独自に任意の交換機間で、呼に対して特定の網機能を実現するために、両方向に送信される情報。	*
3.102	料金区域情報	*
	発着ユーザの料金区域を識別するために、両方向に送信される情報。	*
3.103	課金情報	*
	料金計算または課金の目的で、両方向に送信されうる情報。	*
3.104	課金情報種別	*
	料金計算または課金の目的で、課金情報の種別を識別するために、両方向に送信されうる情報。	*

- 3.105 契約者番号 *
 個々の網で管理している契約者の番号を転送するための情報である。 *
 網間での転送においては、送信元の網が管理している契約者番号が転送される。本パラメータを適用する *
 インタフェースにおいて、本パラメータが省略された場合、契約者番号は、発番号パラメータのアドレス情 *
 報内容と同一であるとみなす。 *
- 3.106 移動通信用エンド情報転送 *
 移動通信特有に必要となる情報を転送するために、両方向に送信されうる情報である。 *
- 3.107 移動通信用呼番号 *
 移動通信特有に、交換機間で回線に依存せず呼を識別するために、両方向に送信されうる情報である。 *
- 3.108 P H S 端末識別番号 *
 P H S 特有に P H S 端末を識別するために、順方向に送信される情報。 *
- 3.109 発信者番号非通知理由 *
 発信者番号がユーザに通知できない場合その詳細理由を表すために、順方向に送信される情報。 *
- 3.110 国内用リダイレクション理由 *
 リダイレクションが起動された理由を通知するために両方向に送信される情報。 *
- 3.111 付加ユーザ種別 *
 発側もしくは着側の付加的なユーザ種別情報を通知するために、両方向に送信される情報。 *
- 3.112 課金情報遅延 *
 A C M または C P G メッセージに設定され、後続の逆方向メッセージ (C H G , C P G) により課金関連 *
 情報の転送を通知するため逆方向に送信される情報。 *
 (注) 第 9 版 ~ 第 1 6 版をサポートするためのオプションである。 *
- 3.113 事業者情報転送 *
 事業者情報を設定し、両方向に送信される情報。 *
- 3.114 輻輳制御済み通知情報 *
 ある交換機での輻輳に対し、前位の交換機での当該輻輳に対しての制御を実施したことを通知するために *
 順方向に送信される情報。 *
- 3.115 発測地速度情報 *
 発測地位置情報と共に、速度情報を示す情報。
- 3.116 緊急通報呼表示 *
 呼が緊急通報呼であることを示すため、順方向に送信される情報。 *

4 . パラメータ情報

4.1 アクセス配送表示

呼設定メッセージが着側加入者線で作成されたことを表示するために逆方向に送信される情報。

4.2 表示識別

アドレス情報が、公衆網ユーザに表示出来ないが、他の公衆網を通過できることを示すため、両方向に送信される情報。アドレスが確認できないことを示すために使われることもある。

4.3 アドレス情報

ネットワーク番号内の情報要素。アドレス情報は、数字0から9、
コード11、もしくはコード12
を表示することができる。

#

アドレス情報値のうちの1つ(ST)は、着ユーザ番号の終了を示すために留保する。

#

4.4 高度

WGS-84 楕円体表面から高低差距離を示す発信者の測地位置情報。

4.5 高度符号

WGS-84 楕円体表面より高いか低いかに示す発信者の測地位置情報。

4.6 高度誤差符号

高度情報に固有の誤差の程度を示す情報。

4.7 APM分割表示

APMメカニズムを用いて転送される情報を転送する残りのセグメント数を示すために両方向に転送される情報。

4.8 アプリケーションコンテキスト識別子

アプリケーション転送メカニズムを使用するアプリケーションを一意に識別する値。

4.9 アプリケーション転送動作指示表示(ATII)

アプリケーション転送メカニズムを用いて指示されたアプリケーションがサポートされていない場合の交換機の動作を示すために両方向に送信される情報。

4.10 バイナリコード

特定のISDNやデータ網によって管理される閉域ユーザグループに割り当てられるコード。

4.11 着信転送可能性表示

着信者から受けたレスポンスに応じて(それが欠けていた場合でも)、着信転送が起動される可能性があることを示すために逆方向に送信される情報。

4.12	呼識別	#
4.13	呼転換表示	#
4.14	呼提供表示	#
4.15	着ユーザ種別表示 一般加入者あるいは公衆電話のような、着ユーザ種別を表示するため、逆方向に送信される情報。	
4.16	着ユーザ状態表示 加入者が空であるというような、着ユーザの状態を表示するため、逆方向に送信される情報。	
4.17	発番号要求表示	#
4.18	発番号応答表示	#
4.19	発ユーザ種別要求表示	#
4.20	発ユーザ種別応答表示	#
4.21	理由表示値 送信したメッセージの理由を表示するため、両方向に送信される情報（例：切断メッセージ）。各理由表示値の定義は標準 J T - Q 8 5 0 [8] で定義されている。	
4.22	C C S S 呼表示 C C B S または C C N R 呼設定に使用され通常の呼とこれらの呼を着側加入者交換機において識別するために、順方向に送信される情報。	#
4.23	C C N R 可能表示	#
4.24	課金表示 呼が課金可能か不可能かを表示するため、逆方向に送信される情報。	
4.25	課金情報要求表示	#
4.26	課金情報応答表示	#
4.27	回線番号 1 対の交換機間の物理的経路を識別する情報。	

4.28 閉域接続呼表示

関連する呼が閉域接続呼として呼設定されたか否か、及び閉域接続呼であれば発信アクセスが許容されるか否かを示す情報。

4.29 コーディング標準

理由表示のようなパラメータと共に送信され、パラメータの形式を記述した標準を識別する情報。

4.30 コンポーネントIDタグ

#

4.31 コンポーネント種別

#

4.32 コンポーネント種別タグ

#

4.33 信頼度

関連する形状記述の範囲内に発ユーザが存在する確率を示す信頼度を識別する情報。

4.34 会議電話許容表示

#

4.35 接続先番号要求表示

接続先番号を返送することを要求するために、順方向に送信される情報。

4.36 導通試験表示

ある回線（群）において導通試験が実施されるかどうか、または接続において前位回線で実施されているかどうかを表示するため、順方向に送信される情報。

4.37 クレジット

#

4.38 緯度

赤道から、北緯もしくは南緯で示される発信者の測地位置情報。

4.39 経度

グリニッジ本初子午線から、東経もしくは西経で示される発信者の測地位置情報。

4.40 診断情報

理由表示に関連して、メッセージの送付の理由に関する補足情報を提供するため、送信される情報。

4.41 メッセージ廃棄表示

コンパチビリティの理由によって、関連メッセージを廃棄することを他のノードに通知するために送信される情報。

4.42 パラメータ廃棄表示

コンパチビリティの理由によって、関連パラメータを廃棄することを他のノードに通知するために送信される情報。

4.43 エコー制御装置表示

接続において、エコー制御装置（片端）を含むか含まないかを示す情報。

4.44 楕円体表面上の楕円の形状記述

楕円体表面上にある楕円内の点の集合を記述する情報。楕円は図4 - 1 / JT-Q762 に示すように、楕円体表面上の点（原点）、楕円の長半径 r_{major} と短半径 r_{minor} および楕円の長軸の北からの角度 θ で記述される。

楕円体上の点と同様に、この形状記述は地表、あるいは地表近傍の座標を示すために使用することができる。

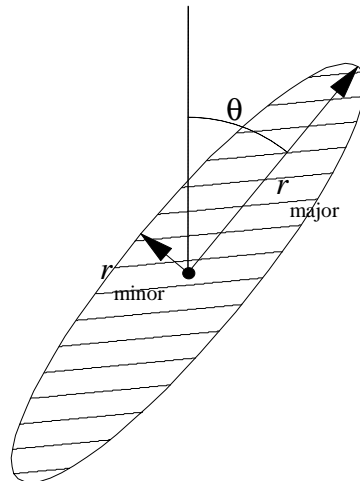


図4 - 1 / JT - Q 7 6 2 楕円体表面上の楕円の形状記述

(ITU-T Q.1902.2)

4.44a 楕円体弧

楕円体表面上の点 o (原点)、内半径 r_1 、誤差半径 r_2 で示される点を表現する情報。 r_1 、 r_2 の 2 つの半径は共に楕円体の表面上の測地距離を示す。北軸と楕円体弧の最初の半径とのオフセット角 ()、両側の半径の内角を () で示す。オフセット角の範囲は 0° から 359° であり、一方内角の範囲は 1° から 360° である。この形状記述は、オフセット角を 0° 内角を 360° とすることで円全体を表現することも可能になっている。

本形状定義は内半径を 0 にすることで扇形を示したり、内角を 360° にすることで円を示したり、その他の円形の範囲を示すことも可能である。目標の位置がその形状で示す範囲に含まれるかどうかを示す信頼度も本形状記述に含まれる。

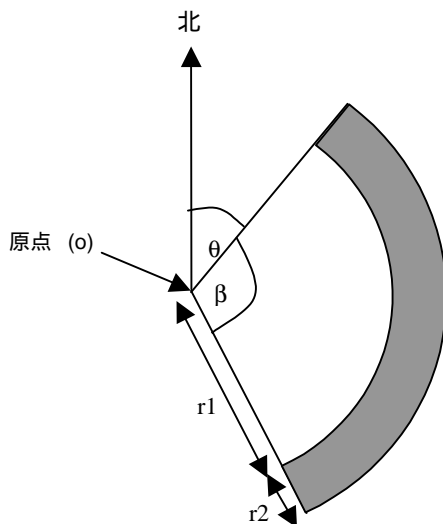


図 4 - 2 / J T - Q 7 6 2 楕円体弧の形状記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.45 楕円体扇形形状記述

楕円体表面上のある扇形内の点の集合を記述する情報。扇形は楕円体表面上の点 (原点) と扇形の半径 r で記述される。図 4 - 3 / JT-Q762 に示す様に、扇形の半径 r は楕円体表面での距離であり、北と扇形の最初の半径との間の角、オフセット角 () と内角 () で示される。

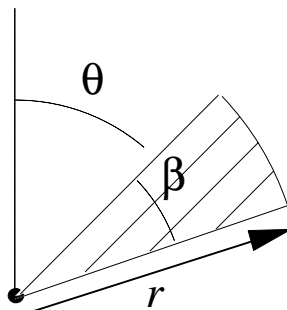


図 4 - 3 / J T - Q 7 6 2 扇形の記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.46 楕円体上の点の形状記述

緯度と経度で構成される WGS-84 楕円体の表面上の点を示す情報。実際問題として、そのような記述は地表もしくはその近傍の点を参照するために利用することができる。図 4 - 4 / JT-Q762 は楕円体上の点と座標を示す。

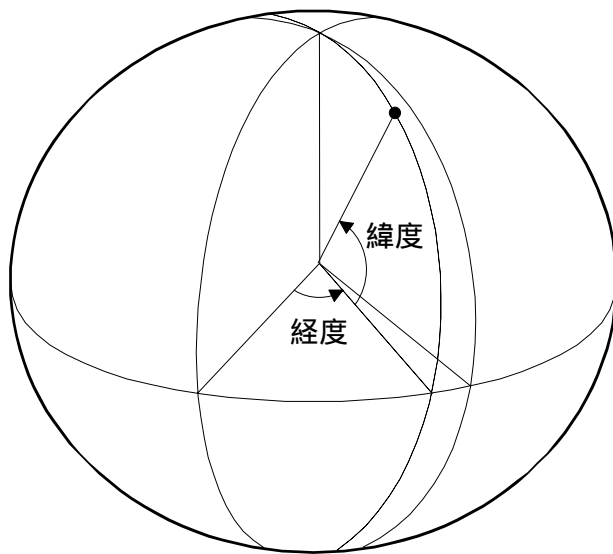


図 4 - 4 / J T - Q 7 6 2 楕円体上の点の 2 座標記述
(ITU-T Q. 1902.2)

緯度は、赤道面と楕円体表面の点に接する接平面に垂直な直線との角度を示している。経度は、グリニッジ本初子午線で決定される半平面と、極軸および楕円体表面上の点で定義される半平面との角度（東方向を正とする）を示している。

4.47 誤差を含む楕円体上の点の形状記述

楕円体表面上の点（原点）と距離 r で示される点を表現する情報。楕円体表面上にある点（原点）から半径 r 以内の点の集合を示している。半径 r は、楕円体表面上の測地距離を示す。すなわち半径 r は、図 4 - 5 / JT-Q762 に図示されているようにその楕円体の表面上にあり、2 点を結ぶ最小の長さを示す。楕円体上の点と同様に、この形状記述は地表、あるいは地表近傍の座標を示すために使用することができる。この形状はその位置が限られた精度でしかわかっていない場合の点を示すために使用される。

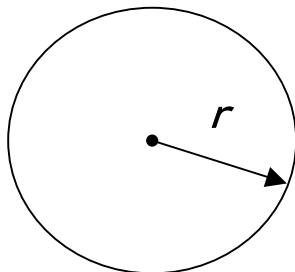


図 4 - 5 / J T - Q 7 6 2 誤差を含む楕円体上の点の形状記述
(ITU-T Q. 1902.2)

4.48 包含アプリケーション情報

アプリケーション転送メカニズムによる転送で必要とされるアプリケーション情報。

4.49 コード化法

B C Dコード等、ディジット情報のコード化規則を示すために送信される情報。

4.50 エンド・エンド情報表示

本表示の送出交換機が、エンド・エンド転送に有効な、呼情報をもっているかどうかを表示するため、両方向に送信される情報。順方向において、エンド・エンド情報が可能であるという表示は、着信交換機は、着ユーザを呼び出す前に情報を得ることを意味する。

4.51 エンド・エンド法表示

もしあるなら、情報のエンド・エンド転送が可能な方法を表示するため、両方向に送信される情報。

4.52 エラーコード

#

4.53 イベント表示

呼経過メッセージにより送信されるイベントの種別を表示する情報。

4.54 イベント提示制限表示

発信者へイベントを表示すべきでないことを示すため、逆方向へ送信される情報。

4.55 拡張表示

可変長の複数オクテットパラメータフィールド内の全オクテットで送信される情報。そのオクテットが最後かまたは続きがあるかどうかを示す情報。

4.56 G V N S ユーザグループ識別

#

4.57 フィーチャコード

#

4.58 フィラー

部分的に使用されたオクテットを完全なオクテットにするために使用されるビット。主にフィラーは、最後のオクテットの残った4ビットにディジット情報がない、奇数番号桁を運ぶ番号パラメータに使用される。

4.59 保留表示

#

4.60 保留有表示

#

4.61 インバンド情報表示

インバンド情報、あるいは適当なパターンが現在利用可能であることを表示するため、逆方向に送信される情報。

- 4.62 内角
扇形の狭角を示す情報。
- 4.63 入回線エコー制御装置要求表示 #
- 4.64 入回線エコー制御装置情報表示 #
- 4.65 動作指示
認識不可メッセージや認識不可パラメータが受信された場合にとるべきリアクションを指示する情報。
- 4.66 網内番号表示
パラメータに含まれている番号がネットワークによって生成されたか否かを示すために特定の番号（例えばローミング番号）に対して着交換機に送信される情報。
- 4.67 相互接続表示
接続の全ての部分で 7 信号方式を使っているかどうかを表示するため、両方向に送信される情報。
- 4.68 インタワーキング表示 #
- 4.69 起動 I D #
- 4.70 ピボット起動理由 #
- 4.71 リダイレクション起動理由
リダイレクション機能が起動する理由を伝える情報で、リダイレクション逆方向情報またはリダイレクション順方向情報の中に含まれる。
- 4.72 I S D N アクセス表示
アクセス信号プロトコルが I S D N かどうかを表示するため両方向に送信される情報。
- 4.73 I S U P 1 リンク表示
接続の全ての前位部分で I S D N ユーザ部が使われているかどうかを表示するため、両方向に送信される情報。逆方向に送信されるとき、前位部分とは、着ユーザ側をいう。
- 4.74 I S U P 1 リンク希望表示
I S D N ユーザ部が、接続の全ての部分で必要である、または優先するかどうかを表示するため、順方向に送信される情報。
- 4.75 情報長（各コンポーネントや情報要素に関する）
コンポーネントまたは情報要素のオクテット数を示すバイナリコードの情報。値は、パラメータ名、パラメータ長、オプションパラメータ終了表示のオクテット数を含まない。

- 4.76 関連 I D #
- 4.77 ローカル参照 #
- 4.78 緯度符号
発信者が北半球もしくは南半球のどちらにいるかを示す情報。
- 4.79 生成源
切断のようなイベントがどこで生成されているかを表示するため、両方向に送信される信号。各値は J T - Q 8 5 0 [8] に定義される。
- 4.80 位置情報表示制限指示
測地位置情報を、公衆網のユーザに提示しないことを示す情報。この情報は別の公衆網に送出することができる。本情報は、測地位置情報を確認できないときに使用することもできる。
- 4.81 ビジー調査 (L F B) #
- 4.82 長半径
楕円体形状記述方法上で楕円の長軸の長さを示す。
- 4.83 短半径
楕円体形状記述方法上で楕円の短軸の長さを示す。
- 4.84 M L P P サービス範囲 #
- 4.85 M L P P ユーザ表示 #
- 4.86 拡張動作指示表示
動作指示表示の拡張のために将来使用として予約されたオクテット。
- 4.87 国内 / 国際呼表示
着信国内網において、呼が国際呼として扱われるか、国内呼として扱われるかを表示するため、順方向に送信される情報。
- 4.88 番号種別
I S D N 国際番号、I S D N 国内番号、I S D N 加入者番号のような番号種別を表示するため、番号とともに送信される情報。
- 4.89 網廃棄表示
呼制御メッセージに含まれるユーザ・ユーザ情報が網によって廃棄されたことを示す。
- 4.90 網識別計画
網、例えば勧告 X . 1 2 1 もしくは E . 2 1 2 (D N I C もしくは M N I C) を識別するための識別計画

を示すために送信される情報。

4.91 網識別子

網を識別するために送信される情報。

4.92 網識別

付加サービスを管理する網を示すために送信される情報。

4.93 網特有ファシリティ識別子

網特有ファシリティの要求または応答を識別する情報。

4.94 通知識別子

付加サービスの提供をユーザに通知を示すために双方向に転送される情報。

4.95 通知契約オプション

#

4.96 第N新規パラメータ名

コンパチビリティ効果のためにために改良された第N番目のパラメータの情報。

4.97 番号不完全表示

転送される番号が完全か不完全かを示すために送信される情報。

4.98 番号ポータビリティ状態表示

#

4.99 番号情報識別子

網特有番号、特定の付加サービスに関連する番号のように、転送される番号を識別するために番号とともに送信される情報。

4.100 番号計画表示

番号計画を表示するため、番号とともに送信される情報（例：ISDN番号、テレックス番号）。

4.101 奇数/偶数表示

アドレスの中に含まれるアドレス情報の数が、偶数か奇数かを表示するため、アドレスとともに送信される情報。

4.102 オフセット

北軸から扇形までのオフセット角を示す情報。

4.103 オペレーションコード

#

4.104 方位

楕円体上の楕円の北軸からの方位を示す情報。

- 4.105 第一転送理由
呼が第一回目に転送された理由を示すために両方向に送信される情報。
- 4.106 発側サービス提供事業者識別子 #
- 4.107 出回線エコー制御装置要求表示 #
- 4.108 出回線エコー制御装置情報表示 #
- 4.109 パラメータタグ #
- 4.110 通過不可表示
通過がコンパチビリティ理由により要求され、本標準以前のインタワークで“通過”が不可能であった場合、どのようなアクションをとるかを他のノードに知らせるために送信される情報。
- 4.111 ピボット実行表示 #
- 4.112 リダイレクション実行表示
特定の理由によりリダイレクション機能が自発的に実行することを示す情報で、リダイレクション順方向情報の中に含まれる。
- 4.113 ピボット可能表示 #
- 4.114 高度情報と誤差を含む点の形状記述
楕円体表面上の点の座標、誤差 r 、高度 a 、高度誤差 h で示される点を記述する情報。それは、原点から垂直距離 h 内に含まれる点の集合を示す。原点は、図 4 - 6 / JT-Q762 に示す様に、誤差を含む楕円体上の点（節 4.46 参照）から高度 a にある点である。

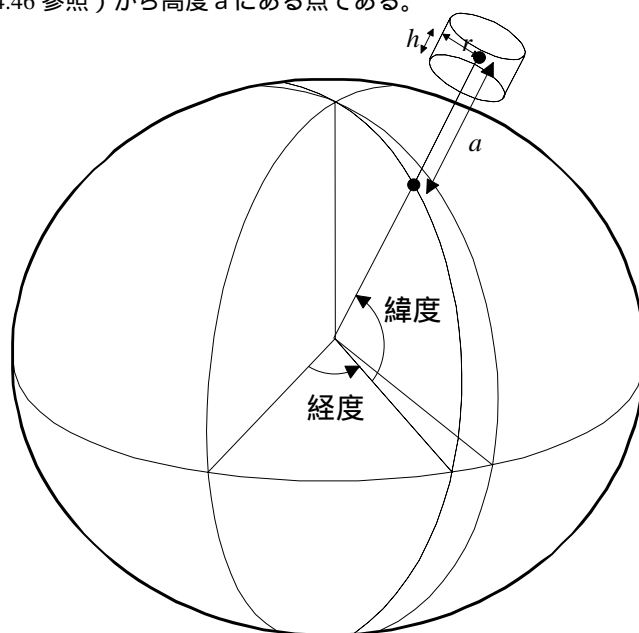


図 4 - 6 / JT - Q 7 6 2 高度情報と誤差を含む点の記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.115 多角形状記述

指定された一連の点（例えば図4 - 7/JT-Q762 の点A～点E）によって任意の形を記述する情報。この任意の形状は最小3から最大15の連続した点により指定される。これらの点は与えられた順に結ばれるものとする。点と点を結ぶ線は楕円体表面上にあり、2点を結ぶ最小距離の直線（測地線）として定義される。最後の点は最初の点と接続している。

点のリストはいくつかの条件に従う。

接続線は、その他の接続線と交差させてはならない。

連続した2点を、楕円体上で直径に沿って向かい合わせてはならない。

記述された領域は、下方を地球中心方向とし、前方をある点から次の点へと向かう方向を正とする直線の正方向に対して右側に位置する。

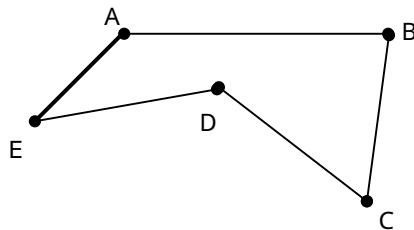


図4 - 7 / J T - Q 7 6 2 多角形状記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.116 優先レベル

#

4.117 問題コード

#

4.118 プロトコルクラス

#

4.119 プロトコルプロファイル

#

4.120 プロトコル制御表示

エンドエンド法表示、相互接続表示、エンドエンド情報表示、S C C P法表示、I S U P 1リンク表示からなる情報。両方向に転送され網接続における信号能力を表示する。

4.121 半径

扇形の形状記述に関連する半径の長さを示す情報。

4.122 範囲

回線群監視メッセージに含まれて送信され、メッセージの措置が及ぶ回線の範囲を表示する情報（例：回線群閉塞）。

4.123 リダイレクション可能表示

接続における少なくとも1つの交換機が、呼のリダイレクションが可能である呼の状態を示すため、順方向に送信される情報。

4.124 転送表示

呼が着信転送されたか、迂回されたか、または発信者への転送先情報の表示が制限されるかどうか示すために、両方向に送信される情報。

4.125 転送理由

着信転送が
複数回 #
起動された場合、
最新の #
着信転送がなされた理由を示すために両方向に送信される情報。

4.126 転送回数

呼が着信転送された回数を示すために両方向に送信される情報。

4.127 呼解放表示

関連するメッセージやパラメータが認識不可の場合、コンパチビリティ理由によって、呼を解放したりしなかったりすることを他のノードに通知するために送信される情報。

4.128 起動交換機への切戻し用呼識別子 #

4.129 起動交換機への切戻し期間 #

4.130 起動交換機への切戻し可能 #

4.131 ルーチングラベル

メッセージのルーチング指示のため、メッセージ転送部へ供給される情報。(T T C 標準 J T - Q 7 0 4 [1 2] 参照)

4.132 衛星回線表示

接続における衛星回線の数を表示するため、順方向に送信される情報。

4.133 S C C P 法表示

情報のエンド・エンド転送のために使用可能な S C C P 法があった場合、それを表示するために両方向に転送される情報。

4.134 網検証識別

アドレス / 位置情報がユーザまたは、網から供給されたのかを表示するため、両方向に送信される情報。

4.135 分割ローカル参照 (S L R)

A P M 分割手順において呼にセグメントを一意に関連づける値。

- 4.136 通知送信表示
関連するメッセージやパラメータが認識不可の場合、コンパチビリティ理由によって通知を送信することを示すため他のノードに送信される情報。
- 4.137 シーケンス #
- 4.138 シーケンス表示
A P M分割手順のシーケンスで最初のセグメントを表示するために用いられる。
- 4.139 セット #
- 4.140 形状記述
発信者の測地位置を示す情報。
- 4.141 信号局コード
信号局を識別する情報。
- 4.142 簡易分割表示
追加情報が分割メッセージで転送されることを示すために両方向に送信される情報。
- 4.143 情報請求表示 #
- 4.144 状態
回線群監視メッセージ（例：回線群閉塞）に含まれて送信され、メッセージで指定された範囲内にあり、メッセージの措置が及ぶ特定の回線群を示す情報。
- 4.145 タイマ T 9 表示
要求時にタイマ T 9 が停止可能であることを後位の交換機に通知するために、順方向に送信される情報。
- 4.146 タイマ T 9 指示表示
前位の交換機にタイマ T 9 を停止するか否かをそれぞれ指示するために逆方向に送信される情報。
- 4.147 暫定転送表示 #
- 4.148 着網アクセス表示 #
- 4.149 着網ルーチング番号 #
- 4.150 スループス接続表示
要求時に両方向のスループス接続が可能であることを後位の交換機に通知するために、順方向に送信される情報。

4.151 スループス接続指示表示

双方向のスループスの接続交換を先行して行う事を指示する為に逆方向に転送される情報。

4.152 中継交換機転送表示

関連するメッセージやパラメータが認識不可の場合、動作指示表示の残りで動作するかどうかを中継ノード(タイプB)に通知するために送信される情報。

4.153 種別

メッセージが要求、応答のどちらかを示すために両方向に送出される情報。

4.154 デジタル種別

認証コード等、汎用デジタルと関連づけてデジタルの種別を示すために送信される情報。

4.155 網識別種別

網識別がITU-T標準識別かまたは国内網識別かによるものかどうかを通知するために送信される情報。

4.156 形状種別

形状記述に関連した測地位置情報のフォーマットを示す情報。

4.157 誤差符号

緯度、経度情報に固有の、誤差の程度を示す情報。

4.158 APMユーザ情報

アプリケーション転送パラメータで転送され、APMユーザアプリケーションによって供給される情報。

4.159 着アドレス

APMユーザアプリケーション情報が到達しなければならないノードのアドレス。

4.160 着アドレス長

着アドレスフィールドのオクテット長を示す2進符号化情報。

4.161 発アドレス

リモートAPMユーザアプリケーションとの相互関係を起動したノードのアドレス。

4.162 発アドレス長

発アドレスフィールドのオクテット長を示す2進符号化情報。

4.163 経由情報転送表示

後位の事業者に対して経由情報の転送の有無とその方向を指示する情報。

*
*

4.164 事業者情報

発事業者、着事業者、選択中継事業者、経由事業者、SCP事業者、移転元SCP事業者、移転先SCP

*
*

事業者の情報。	*
4.165 発事業者情報	*
発信時に発信ユーザを収容している事業者の情報。	*
4.166 着事業者情報	*
着信時に着信ユーザを収容している事業者の情報。	*
4.167 選択中継事業者情報	*
発信ユーザまたは事業者が中継事業者選択番号(00Z ₁ Z ₂)を使って選択した中継事業者の情報。	*
4.168 経由事業者情報	*
発、着、選択中継事業者以外の相互接続事業者の情報。	*
4.169 SCP事業者情報	*
SCPを用いてサービスを提供する事業者の情報。	*
4.170 事業者情報従属	*
事業者情報の従属パラメータであり、事業者固有の情報。	*
4.171 事業者識別コード	*
事業者を識別するための情報。	*
4.172 POI - 料金区域情報	*
隣接する事業者との相互接続点の位置を示す情報。	*
4.173 POI - 階梯情報	*
隣接する事業者と相互接続する階梯を示す情報。	*
4.174 輻輳制御対象外桁数	*
輻輳制御を実施した番号情報に対する輻輳制御対象外桁数。着番号パラメータに含まれるアドレス情報(輻輳制御交換機からの発信時は、着番号パラメータに設定するアドレス情報)の全桁数から、制御対象番号の桁数を引いた値を示す情報。	*
4.175 移転元SCP事業者情報	*
SCPを用いてサービスを提供する移転前の事業者を示す情報。	*
4.176 移転先SCP事業者情報	*
移転元SCPにアクセスした事業者からリダイレクション実行交換機を有する事業者までの区間において、SCPを用いてサービスを提供する移転後の事業者を示す情報。	*

4.177 高度情報を含む楕円体上の点

地球表面上からの高低差距離を含む点を記述する情報。この情報は与えられた経度、緯度、楕円体表面からの高低差距離を含む点によって定義される。図 4-8 / JT-Q762 に本記述を高度の側面から図示したものを示す。

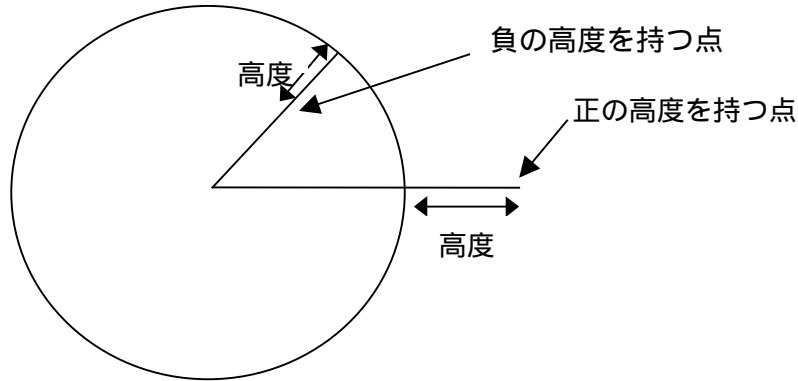


図 4 - 8 / J T - Q 7 6 2 高度情報を含む楕円体上の点の記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.178 高度情報と楕円体誤差を含む楕円体上の点

楕円体表面上の高度情報を含む点の座標、距離 r_1 (長半径)、距離 r_2 (短半径)、距離 r_3 (高度誤差)、方位角 A (方位) で示される点を記述する情報。高度情報と楕円体誤差を含む楕円体上の点は、幾何学的には高度情報を持つ楕円体上の点を中心とする楕円体 (三次元) 表面もしくは楕円体内の点の集合で記述される。この楕円体の実際の長半径軸、平均半径軸、短半径軸は r_1 、 r_2 、 r_3 ($r_1 > r_2$) のなんらかの組み合わせで示される。 r_1 軸(楕円体を 2 等分する切断面の楕円の長半径)は、図 4-9 / JT-Q762 で示されるように北から時計回りに測定される角度 A ($0 \sim 180$ 度) の方向にあり、 r_3 軸は垂直方向にある。

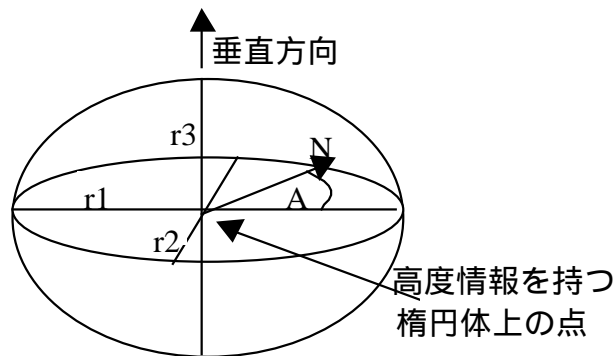


図 4 - 9 / J T - Q 7 6 2 高度情報と楕円体誤差を含む楕円体上の点の記述
(ITU-T Q.1902.2)

本形状記述の典型的な使用法は、その水平位置と高度が限定的な精度でのみ知られている点を示すために使用することである。しかし、誤差の幾何学的影響を定量化することができる。また、目標実体が本楕円体内に含まれている信頼度も本記述に含まれている。

4.179 水平速度

水平速度は、目標実体を持つ水平速力と方位で示される。水平速力は、目標実体を持つ速度の水平成分の大きさである。方位は北から時計回りにとられた速度の水平成分の方向を与える。

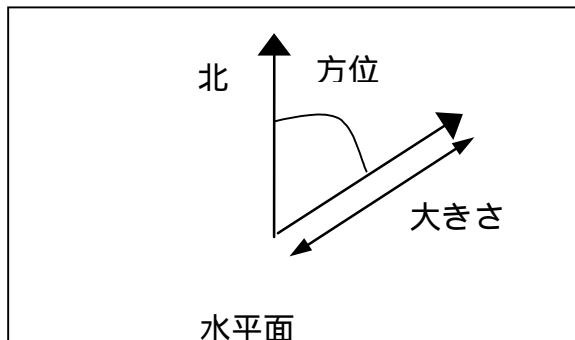


図4 - 10 / J T - Q 7 6 2 水平速度の記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.180 水平垂直速度

水平垂直速度は、水平速力、方位、垂直速力とその方向で示される。水平速力と方位は、速度の水平成分で示される。垂直速力とその方向は、目標実体を持つ速度の垂直成分を与える。

4.181 誤差を含む水平速度

誤差を含む水平速度は、水平速力と方位からなる水平速度ベクトル \underline{V} および速力誤差 s で示される。与えられた速度 \underline{v} と速度ベクトル \underline{V} の関係を以下に示す。

$$|\underline{v} - \underline{V}| \quad s$$

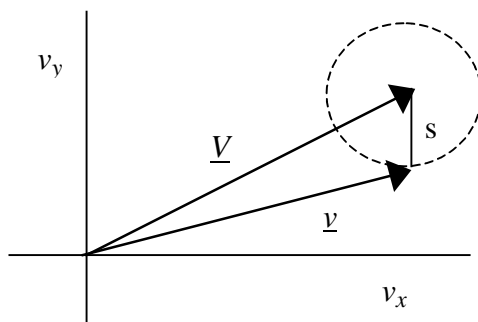


図4 - 11 / J T - Q 7 6 2 誤差を含む水平速度の記述
(ITU-T Q.1902.2)

4.182 誤差を含む水平垂直速度

誤差を含む水平垂直速度は、水平速度ベクトル $\underline{V}_{x,y}$ から与えられる水平速力と方位、垂直速度成分 V_z から与えられる垂直速力とその方向、速力誤差 s_1, s_2 で示される。与えられた速度成分 $\underline{V}_{x,y}$ と V_z と水平成分 $\underline{v}_{x,y}$ と垂直成分 v_z を持つ速度ベクトル \underline{v} の関係を以下に示す。

$$|\underline{v}_{x,y} - \underline{V}_{x,y}| \quad s_1$$

$$|v_z - V_z| \quad s_2$$

4.183 緊急通報呼種別

*

緊急通報呼の種別を示す情報。

*